

古宇利島通信

2025年11月1日発行①

古宇利島海難慰靈祭

10月1日（水）、1947年に村陸上競技大会へ参加する生徒などが海難事故に遭った犠牲者の御靈を慰めるための慰靈祭が執り行われました。遺族も高齢となり参加者が年々少なくなっていますが今後も継続できるよう取り組んでいきます。古宇利大橋開通後、2015年に橋詰広場に慰靈碑が建立されて10年、大橋開通20年の節目の慰靈祭となりました。故玉城民子さん（マチ門）の遺族、美代子さん・恵子さん、キミ子さんの姉妹は那覇から、故諸喜田シゲさん（ハーラー屋）の遺族、和明さんは浦添から、島在住の遺族のみなさんと一緒に御靈を慰めました。



さわやかスポーツ大会

19日（日）、これまで「村老人婦人スポーツ大会」として行なわれていた大会が今年から各字老人クラブを中心とした「さわやかスポーツ大会」として開催されました。古宇利老人クラブ（宮城幸子会長）も会員のみなさんが多数参加しました。大玉転がしやボール運びレース、ホールインワンゲームを楽しみました。競技途中の降雨で、ゲートボールリレーなどの競技は中止となりました。大会後、公民館で昼食をとりながらユンタクとなりました。



10月ゆいまーる

16日のゆいまーるは、今月も竹上麻穂さんが講師となってヨガ教室を行ないました。今回のテーマは「体もゆるやかに整うヨガ時間」参加したみなさんとゆったりした呼吸とやさしい動きで、体が軽くなるヨガをしました。ヨガを続けると、肩こりや腰の重だるさが和らぎ、深呼吸するたびに、内側から元気がめぐっていくようになります。終わった後はみんなでゆんたくタイム。この時間も大切なヨガに負けない心と体の栄養ですね！（まほ談）



10月ゆんたくサロン

31日のゆんたくサロンは参加者の血圧や握力、ベジチェックなどの健康測定を行ない、名桜大学チームとゆんたくサロンチームに分かれてボウリングを楽しみました。勝負は引き分けとなりました。そのほか、ゼスチャーゲームやがんじゅう体操を行ないリフレッシュしました。



古宇利島通信

2025年11月1日発行②

↓がんじゅう体操を楽しむ



↓みんなでゆんたくタイム(ハイポーズ)



やまぐち丸乗組員から大漁旗寄贈

このほど、(株)下関漁業(大山雅紀社長)所属の第7・第8やまぐち丸の郷里の乗組員6人から大漁旗の寄贈がありました。公民館ホールや野外ステージでのイベントなどで使用してくださいとのことです。大漁旗は縦2.4メートル、横5メートルの大きさとなっています。今回で2度目の寄贈となっています。寄贈は玉城文雄(ヨシオヤー)、玉城政志(マーグスクヤー)、玉城信(ゴンユーヤー)、仲宗根吉斬(ナカシマヒロシヤー)、島袋星児(カオルヤー)、與那嶺考輝(ゴンユーヤー)。山口県下関で頑張っているみなさんありがとうございます。いつも大漁を祈念しています。寄贈に感謝いたします。現在、ホール舞台に飾っております

↓やまぐち丸乗組員から寄贈された大漁旗



お知らせ

15日(土)全島角力大会開催

11月15日(土)、午後1時から「全島角力古宇利大橋開通20周年記念大会」第2回ソラハシ杯」を橋詰広場特設会場で開催します。県内選りすぐりの無差別級・軽量級の角力力士が今年も古宇利島にやってきます。見応えたっぷりの角力にご期待ください。久米島、南北大東島からも参加予定です。古宇利島もかつて沖縄チャンピオンを輩出しました。角力文化継承も含めての大会で、子ども角力も予定されています。

ソラハシ及び公民館では「日本と世界のかけはしフェス」を開催します。世界遺産今帰仁城跡や城の歴史なども学ぶことができます。また、北山王や王妃との写真撮影や交流も楽しめます。

詳しくは、別紙チラシをご確認ください。

セグロウリミバエ蔓延防止について

沖縄県からセグロウリミバエの蔓延防止について、家庭菜園でのウリ科作物の栽培自粛の要請があります。種類はかぼちゃ、へちま、にがうり、トウガル、赤モーウイ、きゅうり、ズッキーニなどその他ウリ全般となっています。

詳しくは、別紙チラシをご確認ください。

関西ブロードバンドから

古宇利島のインターネット環境を整備する関西ブロードバンド名護営業所では、インターネットのお困り事の解決などスピーディーに対応しています。気軽にご相談ください。

詳しくは、関西ブロードバンド名護営業所

電話: 0980-43-1920 (担当: 嶺山)

